

平成26年度 第7回下野市教育委員会定例会会議録

- 1 日 時 平成26年10月16日(木) 午後3時30分から5時45分
- 2 場 所 下野市役所石橋庁舎 201会議室
- 3 出席委員 委員長 永山伸一
職務代理者 川口桂子
委員 前原久
委員 三橋明美
教育長 池澤勤
- 4 欠席委員 なし
- 5 出席職員 教育次長 野澤 等
教育総務課長 川俣 廣美
学校教育課長 梅山 孝之
生涯学習課長 若林 宏正
文化課長 蓬田 敏
スポーツ振興課長 坪山 仁
学校教育課指導主事 塩沢 建樹
教育総務課課長補佐 増淵 晴美
教育総務課主幹 古橋 栄一
- 6 傍聴人 なし
- 7 審議事項
議案第41号 平成27年度小・中学校職員定期異動方針について
- 8 報告事項
 - (1) 教育委員会後援等の承認について
 - (2) 寄附金受け入れについて
 - (3) 平成26年度全国学力・学習状況調査結果について
 - (4) 平成26年度中学校新人大会の主な結果報告について
 - (5) 平成26年度学校教育サポートセンター上半期事業報告について
 - (6) 通学路の安全点検状況について
 - (7) 第9回下野市体育祭運動会(石橋地区・国分寺地区)及び南河内地区スポーツフェスティバルの結果報告について
- 9 その他
 - (1) 平成26年度栃木県市町村教育委員会委員研修会について
 - (2) 平成26年度下野市人権教育講演会について
 - (3) 第7回下野市生涯学習情報センターまつりについて
 - (4) 平成27年度下野市社会教育指導員募集について

永山委員長	<p>あいさつ 会議録署名委員の指名 前原委員及び三橋委員 事前送付してある会議録の確認をお願いする。訂正等があれば発言を求め る。(特になし)(全委員了承) 会議録は確定とする。 次に、教育長の報告を求める。</p>
池澤教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9月27日・28日に第3回グリムの森フェスティバルが盛大に行われた。特産のかんぴょうを使った20mの「ジャンボのり巻」が好評であった。 ・ 10月5日・6日に「ねんりんピック」が開催され、本市は囲碁大会の会場となった。6日は台風の上陸で大会への影響が懸念されたが、台風一過快晴のもと閉会式を迎えた。 ・ 10月6日は台風18号の関東上陸に伴い、市内全小・中学校を休校扱いとした。(結果的に県下一斉休校となった) ・ 10月12日に下野市民体育祭運動会(石橋・国分寺地区)及び南河内地区スポーツ大会が実施された。同日、夕刻から国分寺跡保存整備記念事業ワークショップの最終日となる「能楽鑑賞講座」が開催された。(399名の方が参加された) ・ 10月14日に台風19号が前回と同じコースをたどり関東に上陸したため、市内小・中学校は2時間遅れの措置を取らせていただいた。 ・ 本日より下野市児童表彰が始まった。最終日である11月18日まで、対象児童605名にメダルと賞状の授与を行う。
永山委員長	<p>議事に入る旨を伝える。 議案第41号「平成27年度小・中学校職員定期異動方針について」説明を求める。</p>
池澤教育長	<p>【説明要旨】 「平成27年度小・中学校職員定期異動における下野市の重点目標(案)」に基づき改正点と概要について説明を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「人材育成を重視した職員配置」については、次年度も新規採用を15名程予定している。 ・ 「同一校及び同一地域永年勤続」について、下都賀地区では8年を上限としているが、南河内第二中学校には8年目のベテラン教諭が5人いる。これを一遍に異動させてしまうと、学校運営に大きな影響を与えてしまうため「地域のつながりにも配慮」しながら、徐々に解消を図っていく。 ・ 「児童生徒指導や研究体制の充実」については、教育的高水準を維持確保するため「S&Uコラボ事業」等を引き続き推進していく。
永山委員長 前原委員	<p>質疑等はあるか。 昨年との変更点はあるのか。</p>

池澤教育長	<p>基本的に変更点はない。新採枠の確保と永年勤続の解消は昨年からの継続課題となっている。壬生町では次年度6名ほどの校長が一気に退職を迎える。下野市においても学校ごとに勤続年数の調整を図りながら、大きな変動が生じないように配慮していきたい。</p>
永山委員長	<p>他に質疑等はあるか。(特になし) このとおり決定してよろしいか。(全委員承認) 議案第41号は原案どおり決定する。</p>
川俣教育総務課長	<p>次に報告事項に移ることを告げる。 (1) 教育委員会後援等の承認について説明を求める。 【説明要旨】 教育委員会後援等承認一覧に基づき、10月現在で1件の承認をした旨の報告。当団体の申請は初めてとなる。</p>
永山委員長	<p>質疑等はあるか。(特になし) 続いて(2) 寄附金受け入れについて説明を求める。</p>
川俣教育総務課長	<p>【説明要旨】 別紙「寄附申出書」及び「受入決定通知書」のとおり、小山モラロジー事務所しもつけ心の会より3万円の寄附があった旨の報告。青少年健全育成への使途を希望しているため、生涯学習課で受け入れを行い、図書館において図書購入費に充てることになっている。</p>
永山委員長	<p>質疑等はあるか。(特になし) 続いて(3) 平成26年度全国学力・学習状況調査結果について説明を求める。</p>
梅山学校教育課長	<p>【説明要旨】 当該調査は、8月の定例会で報告した「とちぎっ子学習状況調査」と同日に実施されたものであり、小学校6年生及び中学校3年生を対象としたものである。調査は国語と算数(数学)の2教科で、「知識」に関するA問題と「活用」に関するB問題に分類されている。当市の調査結果は全国平均正解率と比較して、小学校では「ほとんどの領域」で、中学校では「すべての領域」で全国を上回っていた。詳細については塩沢指導主事から説明を行う。</p>
塩沢指導主事	<p>以下 速報「平成26年度全国学力・学習状況調査結果(下野市の概要)」に基づき、領域別の全国平均との比較について説明を行う。</p> <p>今回、全国平均を下回った分野は小学校6年生の国語A「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で主に故事成語や慣用句であった。</p> <p>(五十歩百歩は正解率46.1%、百聞は一見にしかずは正解率42.5%) これらは、学校で「話す・聞く・読む」等に十分な関連付けがなされていないこと、家庭においても用いる機会が少ないこと等が考えられる。結果は学校に返し、今後の授業に活用させていきたい。</p>

【全国学力調査結果】

①大きく上回っているもの（5ポイント以上）

中学校3年生 国語B（書くこと、読むこと）
数学A（図形、関数）
数学B（図形、関数、資料の活用）

②同じもの（±1ポイント）

小学校6年生 国語A（書くこと、読むこと）
国語B（話すこと・聞くこと）
算数A（数と計算、図形）
算数B（数量関係）

③上回っているもの（1ポイント以上5ポイント未満）

小学校6年生 国語A（話すこと・聞くこと）
国語B（書くこと、読むこと、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項）
算数A（数と計算、数量関係）
算数B（数と計算、量と測定、図形）
中学校3年生 国語A（話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと、
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項）
国語B（伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項）
数学A（数と式、資料の活用）
数学B（数と式）

④下回っているもの（1ポイント以上5ポイント未満）

小学校6年生 国語A（伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項）

⑤大きく下回っているもの（5ポイント以上）は無かった

【全国学習状況調査結果（質問紙）】

小学校：74項目中15項目で全国・県平均を上回っていた。

中学校：74項目中45項目で全国・県平均を上回っていた。

⇒朝食・新聞を読む・ニュース番組を見る・友達との約束を守る・授業での話し合う活動・算数（数学）の勉強が好き・算数（数学）問題の解き方の工夫 等に良い傾向が見られた。

質疑等はあるか。

下野市の場合、良い成績にも関わらず自己評価が低い傾向が続いているが、自己評価の全国平均はどのようになっているのか。

全国平均も低い結果である。平成23年度から低下傾向にあるので国としても注視している。

自己評価については諸外国と比較すると大きな差が見られる。

個人的な見解であるが、例えば、ごく小さな地域のスポーツ大会で優勝した場合、日本ではあまり話題にしないようなことでも、欧米ではその優勝を

永山委員長

川口委員

塩沢指導主事

川口委員

永山委員長

川口委員	<p>周りに自慢するような傾向がある。それをもって、日本では自己有用感が低いと断じるのは違う気がする。</p> <p>日本には、外部に対して身内をあまり良く言わない（例えば愚息など）ことが美德であるとする国民性があるが、「もっと自己主張してもよい」ということを中学生くらいから指導してもいいのではないか。ドイツとの交流機会もあるので、自己評価を世界基準に合わせることも必要だと思う。</p>
永山委員長 池澤教育長	<p>その辺のところ、実際ドイツを訪問された教育長はどう思われるか。</p> <p>「謙譲の美德」というところはドイツも日本も似たようなところがある。自己主張の度合いは個々で異なり、自己有用感の有る無しに関わらず、主張する人はそのように振る舞うのではないか。人前で話をする、或いはディベート等を通して身に付けた自信が主張につながっていく。児童表彰と重ねると、学校、家庭、地域がそれぞれの持ち場で「君たちの此処がいい、此処がすばらしい」と認めてあげることが、子どもたちの自信につながり、自己有用感を形成していくことになると思う。</p>
前原委員	<p>確かに人前で話す機会が少ないと、自己主張はなかなか出来ないと思う。成長の段階で徐々に身に付くものだと思いますが、周りの大人がほめることでそれを促すことが必要である。</p>
三橋委員	<p>スポーツ指導の世界では「ほめてから叱りなさい」とよく言われている。どんな些細なことでも、ほめられた本人には忘れがたいほどの影響があると思う。数字は数字として受け入れたい。</p>
永山委員長	<p>他に質疑等はあるか。（特になし）</p> <p>続いて（４）平成２６年度中学校新人大会の主な結果報告について説明を求めます。</p>
梅山学校教育課長	<p>【説明要旨】</p> <p>「H26年度中学校新人大会（地区大会）の主な成績一覧表」に基づき、中学校毎の戦績について説明を行う。</p> <p>今回は、個人種目の成績が良く、団体種目の成績が伸び悩んでいるので今後の活躍に期待したい。県大会の結果については後日改めて報告を行う。</p>
永山委員長	<p>質疑等はあるか。（特になし）</p> <p>続いて（５）平成２６年度学校教育サポートセンター上半期事業報告について説明を求めます。</p>
梅山学校教育課長	<p>【説明要旨】</p> <p>学校教育サポートセンターにおける平成２６年度の重点取組（３つの重点的方策）、事業概要及び外部機関との連携事例について説明を行う。</p> <p>○相談業務が大幅に変わったもの（昨年度との比較）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 検査及び検査結果報告が増加⇒新たな個別知能検査の導入による。 ・ 児童生徒観察が増加⇒専門的検査に伴い相談員や心理士が学校に出向く機会が増加。 ・ 支援会議が増加⇒重点方策の外部連携を強化したため。

<p>永山委員長 川口委員</p>	<p>○スマイル教室の利用状況（昨年度との比較）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在籍数は増加している。 ・電話相談は減少⇒サポートセンターとスマイル教室の一体的取組みにより、電話はサポートセンターで対応しているため。 ・来所相談、学校（家庭）訪問の増加⇒外部連携により積極的に外に出ているため。 <p>質疑等はあるか。</p> <p>学校に配置されていた相談員が減った分、サポートセンターの訪問回数でカバーしている状況だと思われるが、相談業務は円滑に行われているのか。</p>
<p>梅山学校教育課長</p>	<p>先にサポートセンターありきの体制ではなく、まずは身近に接している学校において相談を行い、困難な案件については相互連携のもと支援会議や検査につないでいるのが現状である。2つの事例でお示したように上半期の業務は円滑に行われていると考える。</p>
<p>前原委員</p>	<p>サポートセンターの支援会議や訪問回数が増えた要因に検査方法が変わったとの説明があったが、具体的にはどのように変わったのか。</p>
<p>梅山学校教育課長</p>	<p>個別知能検査の方法が従来の「WISK-Ⅲ（ウィスク・スリー）」から「WISK-Ⅳ（ウィスク・フォー）」に変更になり、より精度の高い判定ができるようになった。</p>
<p>池澤教育長</p>	<p>これは専門的な資格を有する方でないと判断ができないものであり、多角的な検査から個人の全体像を把握するものである。ここでの数値が就学支援委員会での判断基準になっている。</p>
<p>前原委員</p>	<p>それだけ、サポートセンターの業務も増えることになると思う。大変な業務であるが、今後とも緊密な連携をとっていただきたい。</p>
<p>永山委員長</p>	<p>他に質疑等はあるか。（特になし）</p>
<p>永山委員長</p>	<p>ここで会議開始より90分経過したので暫時休憩とし、開始を5時05分とする。</p>
<p>永山委員長 梅山学校教育課長</p>	<p>議事再開の旨を伝える。</p> <p>続いて（6）通学路の安全点検状況について説明を求める。</p> <p>【説明要旨】</p> <p>「平成25年度通学路整備要望一覧」に基づき、要望件数及び対策状況等について概要の説明を行う。</p> <p>今後、市議会に提出した「請願」の処理経過・報告に従い、新たな機関の設置（安全推進会議）に向け、要綱の整備や台帳作成等に当たっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規要望22箇所 ・従来要望19箇所 <p>うち、対応済み（青部分）6箇所、対応予定（黄部分）2箇所、対策未定（白部分）33箇所</p> <p>※対策未定箇所については信号機や防犯灯の設置等、実質的に対応が困</p>

永山委員長	難であるものや時間がかかるもの。
川口委員	質疑等はあるか。
梅山学校教育課長	一覧表のうち「平成24年度の検討結果及び対応」の部分が斜線になっているのは、何を示しているのか。
川口委員	従来からの要望箇所を併記しているため、平成25年度に新規提出されたものには、当該箇所に斜線を引いている。
梅山学校教育課長	以前、国分寺地区のスーパーオータニの地下道（アンダー）が危険箇所として載っていたと思うが、今回削除されているのはなぜか。
永山委員長	確認しないとお答えできないが、要望は学校からの申請なので、通学路の変更等により削除された可能性がある。
教育総務課増淵補佐	児童の安全に関わることなので、後程確認して報告をお願いします。
前原委員	※確認の結果、迂回路を利用して、通学距離は延びるが歩道のある安全な道を利用している旨の報告を行う。（通学路の変更）
梅山学校教育課長	物理的に対応が困難な箇所（未定箇所）については、その経緯や結果を学校に説明しなければならないと思うが、学校への報告はどのようになっているのか。
永山委員長	先の通学路変更のように、学校側でも模索できるよう、結果については逐次報告を行っている。信号機を例にすると、短間隔の設置は交通の流れを止めてしまい、かえって危険になるケースもあるので、物理的な困難についても個々に応じた説明責任を果たしていきたい。
川口委員	元に戻ってしまうが、要望に対して解消したケースであっても、この一覧表から削除するのではなく、その経緯や対策について記載し残していただきたい。
永山委員長	要望に対し物理的な解消はできなかったが、異なる方法（通学路の変更等）で解消したと言うのは、一般の方は知り得ないので、この辺の周知方法について配慮が必要だと思う。
梅山学校教育課長	表現の話になるが、No.8の「結果及び対応」欄の文章内容が適切かどうか。また、No.21の要望に「雑木林の剪定」があるが「結果及び対応」には何も触れられていないのはどうなっているのか。
永山委員長	No.8は資料としては不適切な内容であるので関係課に指導したい。なお、No.21は確認が必要なので後日報告したい。
坪山スポーツ振興課長	他に質疑等はあるか。（特になし） 続いて（7）第9回下野市体育祭運動会（石橋地区・国分寺地区）及び南河内地区スポーツフェスティバルの結果報告について説明を求める。 【説明要旨】 10月12日に各地区において実施された運動会（フェスティバル）は、台風が心配されたが盛大のうちに無事終了することができた。ご参加いただいた皆様にはこの場をお借りしてお礼申し上げます。参加人数、順位等は当該

<p>永山委員長</p>	<p>「結果報告」を参照されたい。 質疑等はあるか。(特になし)</p> <p>次にその他に移ることを告げる。</p> <p>(1) 平成26年度栃木県市町村教育委員会委員研修会について説明を求める。</p>
<p>川俣教育総務課長</p>	<p>【説明要旨】 別紙のとおり11月5日(水)に当該「研修会」の案内通知があったので、委員の出欠について確認をお願いしたい。内容については開催要項を参照いただきたい。(石橋庁舎1:30分集合・出発)</p>
<p>各委員 永山委員長</p>	<p>それぞれ、スケジュールを確認し出欠を報告する。</p> <p>質疑等はあるか。(特になし)</p> <p>続いて(2)平成26年度下野市人権教育講演会について説明を求める。</p>
<p>若林生涯学習課長</p>	<p>【説明要旨】 12月20日(土)に当該講演会を開催するのでご案内する。講師として全国Webカウンセリング協議会理事長の「安川雅史」氏をお迎えし『ネットいじめ・犯罪から子どもをどう守るか～インターネットと子どもの人権～』と題してお話を伺う。今回は、安川先生の講演を聴講した池澤教育長に講師の推薦をいただいた。</p>
<p>永山委員長</p>	<p>質疑等はあるか。(特になし)</p> <p>続いて(3)第7回下野市生涯学習情報センターまつりについて説明を求める。</p>
<p>若林生涯学習課長</p>	<p>【説明要旨】 10月19日(日)に開催する当該イベントのチラシが出来たのでご案内する。委員の皆様にもご都合がつけば是非参加をお願いしたい。</p>
<p>永山委員長</p>	<p>質疑等はあるか。(特になし)</p> <p>続いて(4)平成27年度下野市社会教育指導員募集について説明を求める。</p>
<p>若林生涯学習課長</p>	<p>【説明要旨】 社会教育指導員の任用期間については上限を5年としているため、今年度5年目を迎える方、2名について募集を行うものである。(広報紙やホームページ等で周知を行う)募集人員を「若干名」としているのは、退職希望があるかも知れないのでこのような表現にさせていただいた。</p> <p>以下、応募資格・勤務時間・採用期間・報酬等について説明を行う。</p> <p>質疑等はあるか。(特になし)</p> <p>次回の教育委員会は11月20日(木)の午後3時15分の予定とする。 場所は国分寺公民館 2階会議室 (常任委員会との懇談会終了後) 本日の議事日程は全て終了した旨を告げ、午後5時45分閉会。</p>